



FREE AWAJI BOOK 8890

 フリーアワジブック 8890

 2015.06.08 発行

発行：一般社団法人 読書エリマキプロジェクト

 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105 フラタスアワジ1311

 Tel.03-3526-9883 Fax.03-3526-0090 www.awaji-am.com



編集：フラットモーニング株式会社 水代 優

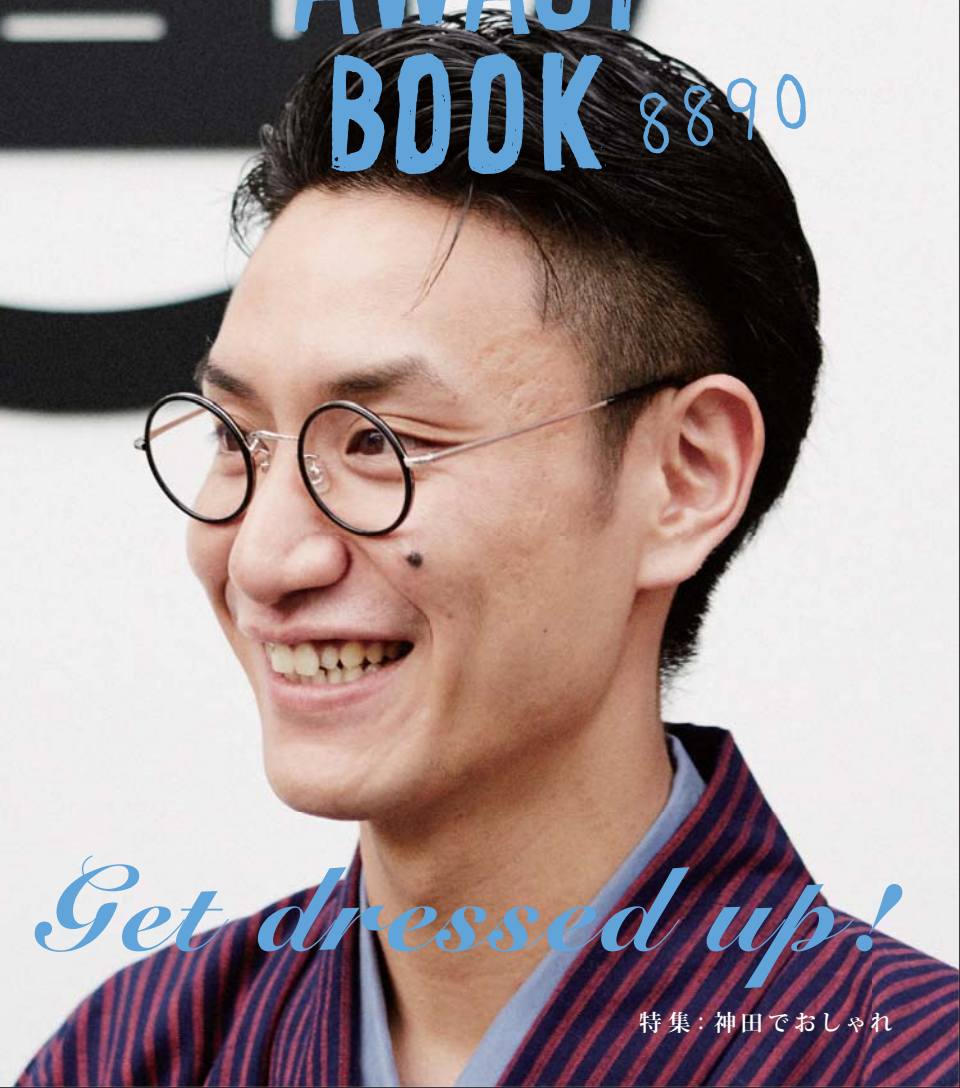
 www.goodmornings.co.jp

¥0

FREE AWAJI BOOK 8890

2015 June No.10

 Call me FAB!



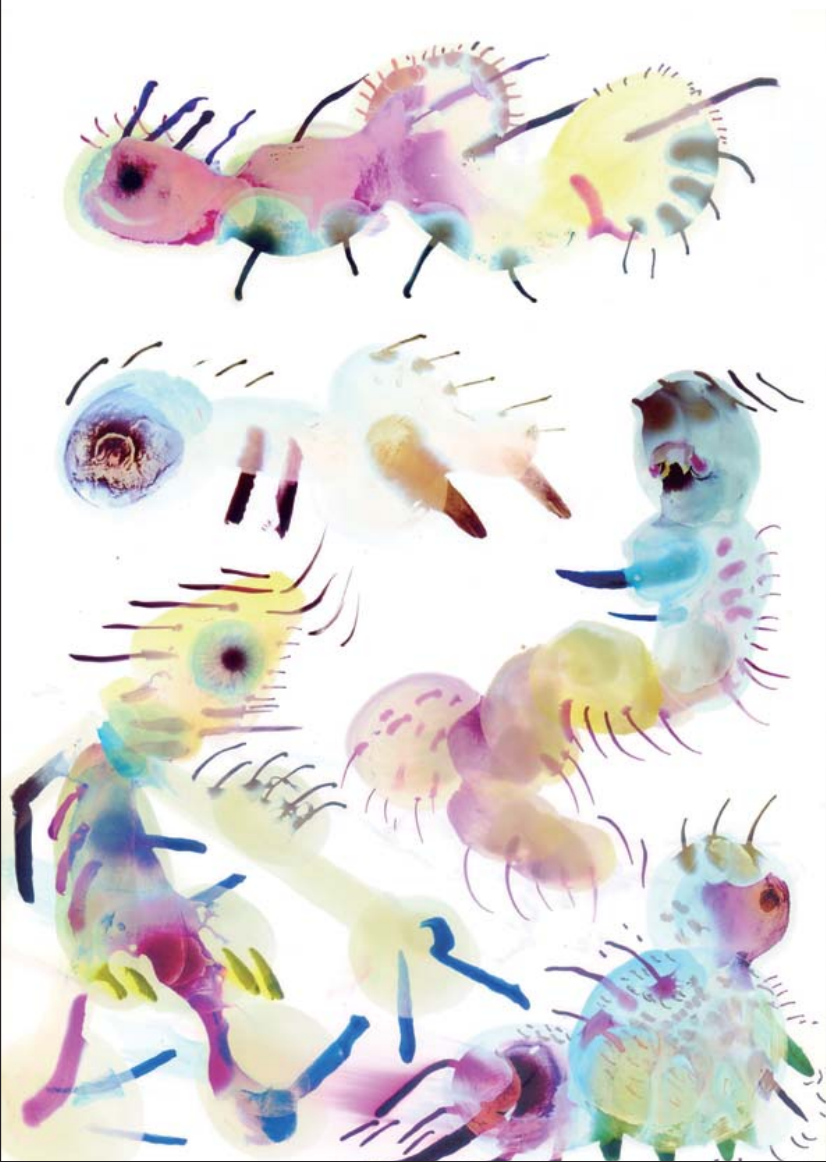
Get dressed up!

特集：神田でおしゃれ

Houraku Kei "pictoeurhythmics"

3.9 mon - 6.30 tue.

<http://www.cafe1045.com>



實業主展 「ピクトリトミック」 3月9日(月)～6月30日(火) ワテラスタワー 2F cafe1045

Get dressed up!

ファッションはモチベーション。

まずは服を着替えるといい。

たとえば着物なんか着て、大変身するとかね。

Text Inoue Asako
Photo Tsuchiya Koji

守るために攻める。若き“つつこみ隊長”の奮闘



俊之さんがデザインした午年の手ぬぐいは西洋風の馬と明るめの紺が現代的。「注染」という伝統技法で染めてある。

名だたる老舗が軒を連ね、いかにも神田らしい風情を残す神田須田町。明治4年の創業からこの町と共に歴史を重ねてきた「下久呉服店」に今、五代目・木村俊之さんという新しい風が吹き始めている。彼が27歳の若さで「下久」の看板を背負うことを決めたのは、着物職人たちの手仕事に感動したから。「染める、織るなど着物作りの工程は多く、その一つ一つに専門の職人がいます。なんでもデジタルでできる時代だからこそ、一つの技を極めている職人はとても信頼できるし、現在まで着物が残ってきた理由もそこにあるんじゃないかなって。着物一枚に日本中の職人の手仕事が集まっている。すごく面白い世界だと思いました」。

反物選びから仕立て、その後のメンテナンスと、お客さんは何度も店に足を運ぶため、呉服屋とお

客さんの関係は売り買いだけで終わらない、人々との触れ合いになっていく。祖父母からひ孫の代まで最真にしてくれる、先代が繋いでくれた人との縁が一番の宝物だ。「神田を離れたお客様が昔馴染みの店で食事をしたり、うちに寄るために久しぶりに町へ戻ってきて楽しんでいってください。私達のような老舗が、神田と人を結ぶきっかけの一つになれていることがうれしいです。」



神田という場所にこだわり続けた三代目・久彌さん（写真右から二番目）。



大正～昭和初期頃に下久で使われていた美しい包装紙を俊之さんが復元。

Get dressed up!



帯になった白熊の下絵。こんな愛らしいポーズは既成品では見つからない。



かつての番頭さんが残した手描きの“手ぬぐいデザイン帳”は昭和29年のもの。

そんな俊之さんが“つつこみ隊長”と呼ばれているのは、日本画の腕を生かしてオリジナルの図案作りを始めたからだ。きっかけは、お客さんとの雑談から出てきた“大好きな白熊の帯が欲しい”という言葉だった。「描いてみたらすごく気に入ってくださって。ただとても細かい下絵だったので、動物画が得意な友禅の職人さんを探し出し、帯にできるよう直談判。下久という名を聞いて尽力してくださり、素敵な帯に仕上がりました」。帯のほか手ぬぐいの図案制作、かつての店の包装紙デザインを復元したりと、次々に新しいものを生み出す俊之さんは、いわば下久史上初の自社デザイナー。創業145周年の老舗が生んだルーキーは、高齢化で停滞する着物業界の未来を切り開いていく。「職人がいなくなったり技術が失われ続けている

業界に、“新しくできた何か”を届けたい。お客様も業界の先輩方も、若手の僕を応援して可愛がってくださるのでありがたいです。下久として守るべき伝統は大切にしながら、新しいものとも仲良くしていきたい。着物はもっとと自由に楽しめる、面白いものなんですから」。



下久呉服店 千代田区神田須田町1-19-8

☎ 03-3251-0388

🕒 10:00～18:00 ㊟ 木・日曜日・祝日

古の普段着は、現代のファンタジーへ。

今の時代「着物」を普段着として着るのはハードルが高い。けれど、ファッションが自分の気分を高めてくれる“魔法”のようなものであるとしたら…。特別な日のための一着として着物を持つことは、なかなか素敵なおアイデアではないだろうか。今年 3 月、神田明神の真横にオープンしたメンズ専門の着物テラー「Y. & SONS」は、平成の男性たちをいつもよりちょっとカッコ良くする、とっておきの着物を仕立ててくれるお店だ。

店は洗練されたモダンな雰囲気でも着物屋とは思えないが、母体は創業 1917 年の呉服店。着物の本質を守りながら、自由に楽しむ。それがこの店のスタイルだ。「着物だからこうしなくちゃいけない、なんて考えなくていい。だからここでは NY 発の『JUTTA NEUMANN』のレザーサンダルや、『KIJIMA TAKAYUKI』オーバーサイズ

店名のロゴが入った芯に巻かれている反物。全体の 6・7 割がオリジナルデザインで、なかには若冲モチーフのユニークなものも。



のハットなど、普通着物と合わせないような小物もセレクトしています。想像の一步先を行く着こなしを提案したくて」と語るのはディレクターの矢嶋孝行さん。灰色の着物に白のカジュアルな腕時計がよく似合っている。店内の壁一面には全国の産地から選りすぐった反物が美しく並んでいて、お気に入りの見つけたらなんと最短 2 週間で着物に仕立ててくれるという。値段だってリーズナブルだ。

「着物は仕立て料込みで ¥39000 から。ユニークなオリジナル柄もありますが、縦縞などのシンプルなものを中心です。これからの季節は ¥29000 から作れる浴衣もおすすめ。仕上がりが速いので、海外からの観光客の方にもお作りいただけるかと思っています」。



アートワークは平林奈緒美氏、インテリアは佐々木一也氏と店作りにはトップクリエイターたちが携わった。

洋服が根付いた現代の日本、そして世界へと着物の魅力を発信したいという矢嶋さん。新旧の文化が交わるここ神田はそのステージにぴったりだ。「海外の方ももちろん、日本人にとっても着物は非日常の“ファンタジー”を楽しめるファッション。見た目だけでなく五感でその世界観を味わってもらえるようなお店にしたいです。私はファッションで街の景色が変わっているんです。この店をきっかけに着物に触れる人が増えて、神田の街に新しい彩りが生まれるといいですね」。

Get dressed up!



矢嶋さんは「いかに島国としての魅力を守るか」と海外への発信にも意欲を燃やす。



Y. & SONS

千代田区外神田2-17-21

☎ 03-5294-7521

🕒 11:00 ~ 22:00 ㊟ 水曜日

HANG OUT MAP

ぶらぶらマップ 2015

A 3月9日(月)～6月30日(火)

寛楽圭(ほうらくけい) 個展
「ピクトリトミック」

絵を意味する「ピクト」と、リズムや旋律との戯れから音感をくむ体験を意味する「リトミック」で「ピクトリトミック」。プリント用紙とプリントインクを用いたユニークなペインティングの展示です。

・場所: ワテラスタワー 2F cafe104.5



B 6月2日(火)～21日(日)

mAAch ecute CRAFT MARKET

イベントスペース「佇マイ」では、約180名の創作者(＝クリエイター)達が創り出す個性豊かな品々が集まるクラフトマーケットを開催いたします。週単位で作家が入れ替わり、毎週違った楽しみをお届けいたします。

・時間 月～土 11:00～21:00 日祝 11:00～20:00

・場所: mAAch ecute

C 6月26日(金)～7月20日(月・祝)

ポコラート全国公募展 vol.5



ポコラート全国公募展 vol.4の
展示風景

・時間 12:00～19:00(最終入場 18:30) ・場所: アーツ千代田 3331

・主催: 千代田区、アーツ千代田 3331

障害のある人、ない人、子供から大人までアートのプロ・アマ問わず、誰もが参加できる全国公募から選ばれた作品約 200 点を一堂に展示。会期中は、ワークショップや鑑賞ツアーなどさまざまなイベントを行います。

● NEST

靖国通り

パタゴニア東京・神田●

illustration
Mougi Kazuya

D E F



はきもの匠胡蝶●

● Y.& SONS

C 3331
ARTS CITY



Y.& SONS
BESPOKE TAILORING

Sola City

WATERRAS

● Rin8890

新御茶ノ水

AWAJICHO

A

下久呉服店●

神田ちゃん子●

SIOYA●

mAAch
ecute
KANPA MANSEIBASHI

● フクモリ

● haluta

オーダースーツの
深野羅紗店●

E 7月4日(土) 流却神事

夏越大祓式でお祓いた人形を古式に則り大海原に流し去り、罪穢や災禍を消滅させて自身の清浄を祈ります。屋形船での厳肅な神事と直会があります。*事前申込必要。集合場所と参加費は6月以降に社務所にお問い合わせください。・時間 17:00 出船予定

F 7月7日(火) 七夕祭

この日のみ出会える彦星と織姫に短冊に書いた願いごとを叶えてもらうようお祈りいたします。*どなた様でも参列できます。

・時間 16:00～17:00 ・場所: 神田神社境内

*編集部が独自にセレクトしました。

中央通り

外堀通り

本郷通り

小川町

トータルオーダータツミ

● 顔のワイシャツ 神田店

EAT LOCAL! ワテラスマルシェ 便り



「淡路」が結んだ食のつながり。淡路市の美味しいもの大集合!

ワテラスマルシェに集まる全国の「おいしい」を紹介する、EAT LOCAL。

第2回目に登場するのは、6月のマルシェに出店することが決まった兵庫県淡路市! 神田淡路町と同じ「淡路」つながりということで、念願の「淡路」コラボレーションが実現する。

淡路島は、兵庫県が一番南にある南北に細長い島で、今から約 1200 年前の平安時代には「御食国」(みけつくに)と言われ、神や天皇に食べ物を献上していたとされる。実は、淡路島は3つの市(淡路市、洲本市、南あわじ市)から構成されており、北側3分の1を占めるのが、淡路市となる。

年間を通じて瀬戸内海特有の温暖な気候に恵まれ、日光が当たる時間が長く、島内では現在も排水のよい土壌条件を活かして、日本一の品質を誇

る淡路島たまねぎを中心とする野菜をはじめ、米・畜産・果樹・花卉など多彩な農畜産物を生産している。淡路市の美味しいがたっぷり詰まったマルシェをぜひ味わってみては。



淡路島たまねぎ

淡路島たまねぎの特徴は、やわらかさと甘み。9月に種をまき、11月～12月の収穫を終えた田んぼに植え、厳しい冬を耐えて、十分に栄養を蓄えて、いよいよ収穫を迎えます。「玉葱小屋」で自然乾燥し、甘みと色艶を整えてから、出荷されています。マルシェ当日は、淡路島たまねぎの特徴である甘みをふんだんに使って作る淡路島カレーも登場します!



5月～6月、緑の葉が自然に倒れ、葉の付け根がしまると、いよいよ収穫。



WATERRAS
MARCHE

淡路市が登場する
ワテラスマルシェは…

6月12日(金) 11:00～19:00

場所: ワテラス広場・淡路公園

神田祭体験レポート 街を愛する思いで、ひとつになる



街中を練り歩く神輿。神田っ子の威勢のいい掛け声がそこら中に響きわたった



はっぴの背中には、それぞれの町会名

ワテラスステューデントハウスに暮らす学生が、神田の魅力を内外に発信するコーナー。今回は、2年に1回、5月に開催される神田の風物詩「神田祭」を体験取材。神田っ子が一致団結して、思いが一つになった、熱い1日の模様をお伝えしたい。日本三大祭のひとつである神田祭。2年ぶりに開催された今年の神田祭は、神田明神が現在の外神田に遷座されて400年の節目の年ということで「ご遷座400年奉祝大祭」として晴天のもと盛大に行

われた。私たち学生が参加したのは、神輿の神田明神への宮入が行われ、祭が最も盛り上がりを見せる5月10日。私たちの住むワテラスがある淡路町2丁目町会に神輿の担ぎ手、神輿を先導する高張提灯の持ち手として参加した。大小200もの神輿の宮入が行われる祭のエネルギーには終始圧倒されるばかりであったが、今回気付かされたのは参加者の自らの街に対するプライドであった。

Text ワテラスステューデントハウス
林 凌平（立教大学 経済学部 4年）

Photo Tsuchiya Koji

SPEAK OUT!



淡路町2丁目町会の神輿はワテラス広場から出発！



記事を担当した林凌平君。高張提灯の持ち手という大役を任される。

半纏を身に纏い、威勢のよい掛け声を出して神輿を担ぐ姿からは、自らの町会が一番だという気持ちが感じられた。自身も高張提灯を持ち先頭を歩き、肩の痛みに耐えながらも神輿を担ぎ神田明神にたどり着いたときには、大きな達成感とともにこの街に住む誇りが自然とわいてきた。街は変遷していくものだ。神田はとくにめまぐるしくその姿を変えている。新旧の人々が混在するこの街において、神田祭は、私たちのような新しく街にきた人にとっては愛着心を発見させてくれる、長く街にいる人にとってはその気持ちを再確認させてくれる、そんな機会になっている。長い歴史を持つ神田祭の最大の魅力といえる江戸っ子の活気に満ちた雰囲気の基本には、底知れぬ街への愛着心がある。私も、多くの街の人々と共に祭に参加して、自らの住むこの街に愛着をより感じるようになった。

WE ARE AAM!

JMV AUDITORIA
2015 Apr 24, 25, 26
WATERRAS

毎年恒例！春のワテラス、JAZZの宴に酔う



JAZZのファンたちで埋め尽くされたワテラス広場



主 催 JAZZ AUDITORIA 実行委員会
共 催 一般社団法人淡路エリアマネジメント
BLUE NOTE JAPAN, INC.
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団



当日ワテラス広場を彩ったイベントフラッグ



期間中は天候にも恵まれ、芝生の上でくつろぐお客さんの姿も



淡路エリアマネジメント(AAM)の活動拠点であるワテラスは、2015年4月でオープン2周年を迎えました。

それに合わせて、4月24日～26日の3日間、BLUE NOTE JAPAN, INC. との共催による大型野外ジャズイベント「JAZZ AUDITORIA 2015 in WATERRAS」をワテラス広場にて開催しました。

3回目となった今回のイベント、強力なアーティスト陣のライブはもちろん、今年はステージ脇の公園で「ワテラスマルシェ」を同時開催するという新たな試みも。

当日は、観覧席からライブを見るだけでなく、芝生の上で、マルシェで買ったお酒を片手に、腰を下ろしてゆったりとジャズを楽しむ人の姿も多く、都会とは思えない、贅沢な風景が広がりました。近場で働く、仕事帰りの会社員やOLの方が、「ちょっと聞いて行こうか」とふらっと立ち寄って下さったのか、立ち見客が多かったことも印象的で、ジャズイベントが少しずつ地域に根付き始めていることを実感致しました。来年は更にパワーアップしたJAZZ AUDITORIAをお届けできればと思っています。AAMではこれからも、神田の地域資源を活かして、みなさんの交流のきっかけになる面白いことを仕掛けていきます。応援よろしくお願い致します。

AAM [一般社団法人淡路エリアマネジメント] サポーター及び賛助会員募集中!

サポーターのご登録はこちらから awaji-am.com/waterras/mailmag/